

Network Connection and Job Import

UV INKJET PRINTER

JFX600-2513

JFX600-2531

ネットワーク接続 &
ジョブインポートガイド

本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

<https://japan.mimaki.com/>

D203648-21

Original instructions

目次

はじめに

1. ローカルネットワークに接続する.....	4
LAN接続確認方法	4
2. イーサネットを設定する	6
ネットワークの共有と設定.....	6
イーサネットを設定する	9
3. 出力ポートを[Ethernet]に設定している場合	15
RIPデータを作成する	15
任意のタイミングでジョブを共有フォルダへコピーする	18
4. RIP向けネットワークカードの選択	19

はじめに

JFX600-2513, JFX600-2531（以下、「本機」と呼びます）は、ネットワークを介して本機の"共有フォルダ"へジョブを取り込むことができます。

本書では、RIP用PCを本機に接続する際のネットワークの設定と、共有フォルダを用いてプリントする場合のジョブの取り扱いについて説明します。

1. ローカルネットワークに接続する

本機（制御PC）とRIP用PCをローカルネットワークや直接LANケーブルで接続すると、ジョブ（RIPデータ）を簡単に取り込むことができます。LANケーブルは、カチッと音がするまで挿し込んでください。

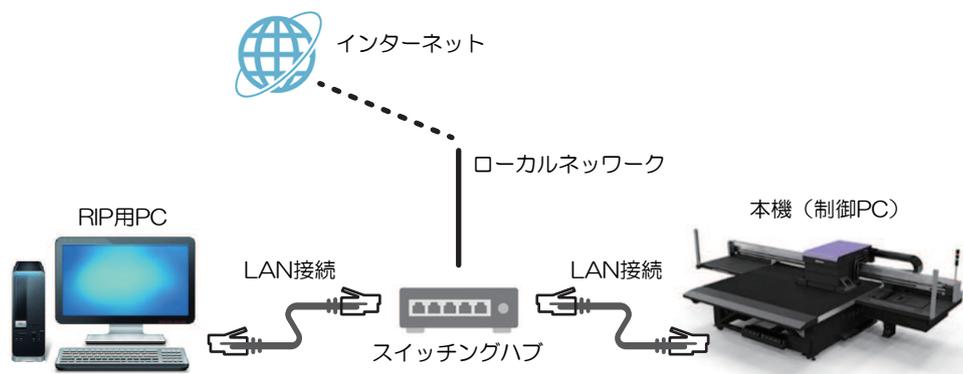
● RIP用PCと本機（制御PC）の構成

接続方法は、以下の2種類があります。

- LANケーブルを使った接続



- ローカルネットワークを経由した接続



● LAN経由で接続するときの注意事項

- 制御PCとプリントデータを転送するRIP用PCは、同じローカルネットワークに設定してください。ルーターを経由した接続や、W-Fiを使用した接続はできません。
- ローカルネットワーク接続には、次の接続機器を使用してください。

機器	必須	推奨
RIP-PC LANポート	1Gbps以上	10Gbps
LANケーブル	CAT6A以上	CAT6A以上
スイッチングハブ	1Gbps以上	10Gbps

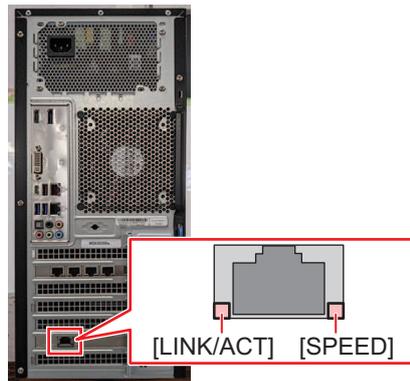
LAN接続確認方法

● 本機（制御PC）の状態を確認する

制御PC背面の下側にあるLANコネクタのランプを確認します。

- 接続されているとLANコネクタのランプが点灯します。

- ランプが点灯していない場合は、カチッと音がするまでLANケーブルを挿し込んでください。



LED	状態	概要
SPEED	緑	10GBASE-Tでリンクアップされています。
	黄色	10GBASE-T以外でリンクアップされています。
LINK/ACT	緑-点滅	データ送受信中です。
	緑	トラフィックがありません。



- データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。

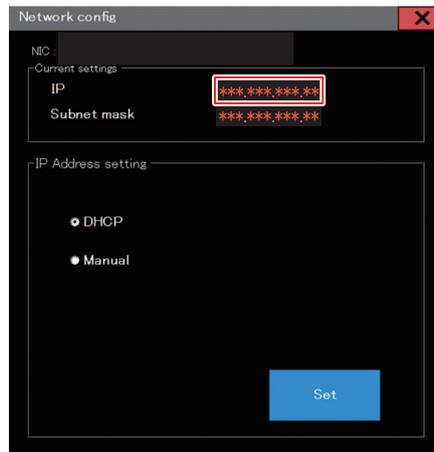
● タッチパネルを確認する

タッチパネルの[ネットワーク設定]を確認します。



- 必ずLANコネクタのランプが点灯しているかどうかを確認してから、以下を設定してください。

- タッチパネルのMENUから、[設定2] > [システム設定] > [ネットワーク設定]をタップします。ダイアログを確認します。正常にLAN接続されている場合は、アドレスが表示されます。



2. イーサネットを設定する

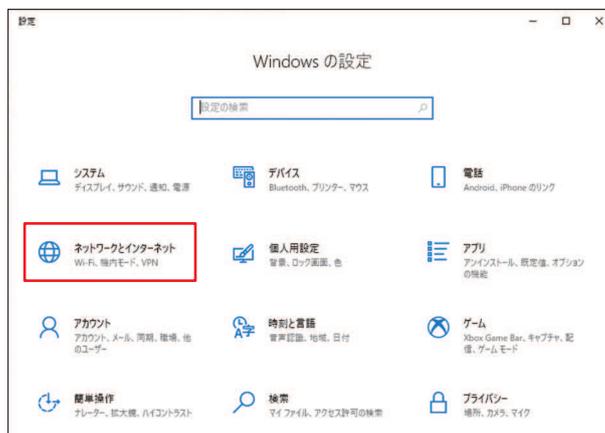
ネットワークの共有と設定

Windows10の場合

- 1 RIP用PCの[スタート]> [設定]をクリックする。



- 2 [ネットワークとインターネット]を選択する。

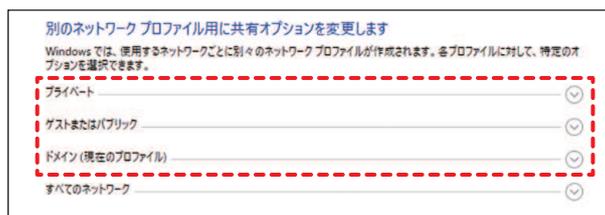


- 3 ネットワークの詳細設定の中の、[共有オプション]を選択する。

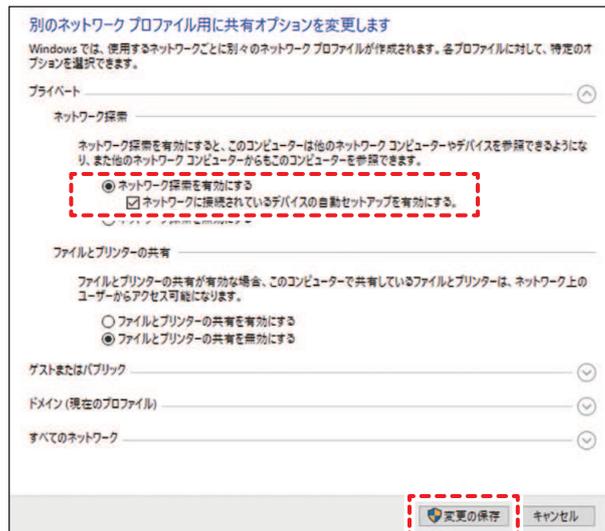


- 4 [プライベート]、[ゲストまたはパブリック]または[ドメイン]のいずれかを選択する。

- ネットワーク構成によって、選択する項目が異なります。お客様のネットワーク管理者にお問い合わせください。



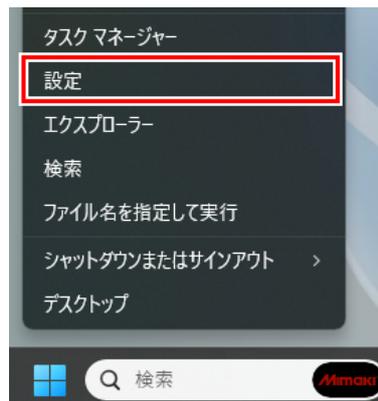
5 [ネットワーク探索を有効にする]を選択して、[変更の保存]をクリックする。



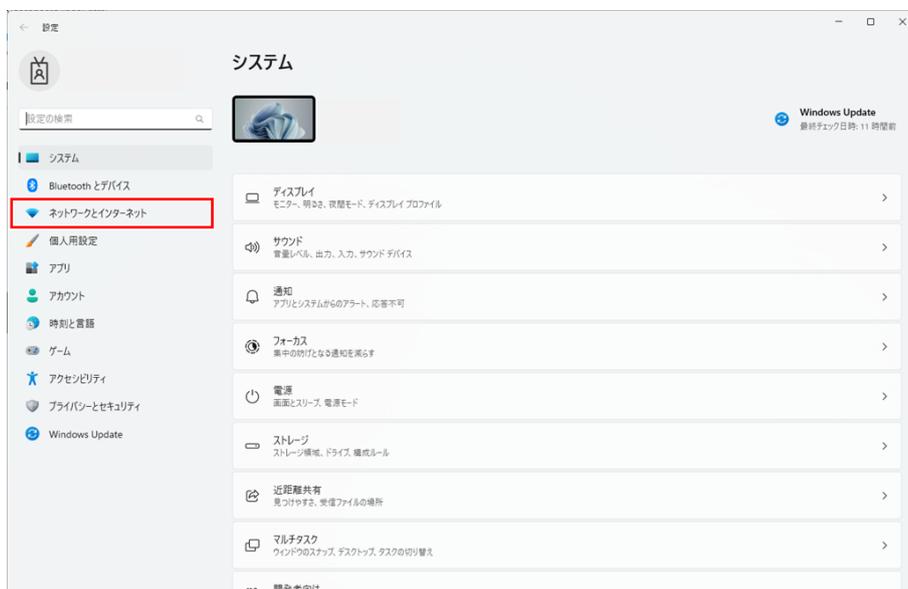
6 設定を適用するため、RIP用PCを再起動する。

Windows11の場合

1 RIP用PCの[スタート] > [設定]をクリックする。



2 [ネットワークとインターネット]を選択する。



3 [ネットワークの詳細設定]を選択する。



4 [共有の詳細設定]を選択する。



5 [プライベートネットワーク]、[パブリックネットワーク]または[ドメインネットワーク]のいずれかを選択する。

- ネットワーク構成によって、選択する項目が異なります。お客様のネットワーク管理者にお問い合わせください。



6 [ネットワーク探索]を[オン]にする。

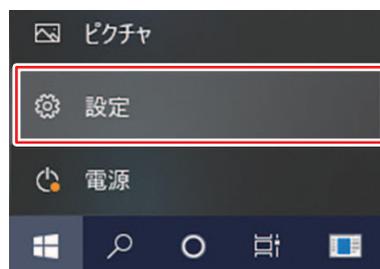


7 設定を適用するため、RIP用コンピュータを再起動する。

イーサネットを設定する

Windows10の場合

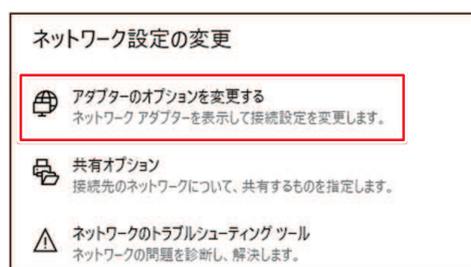
1 RIP用PCの[スタート] > [設定]をクリックする。



2 [ネットワークとインターネット]を選択する。

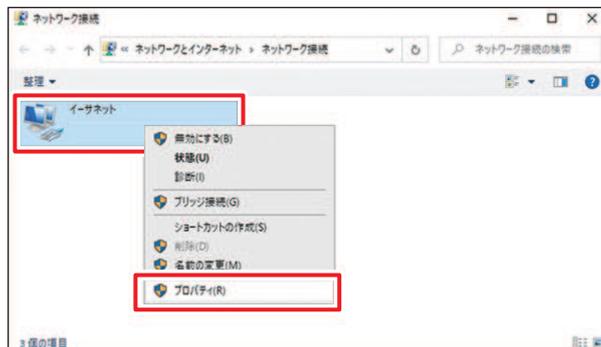


3 [アダプターのオプションを変更する]を選択する。

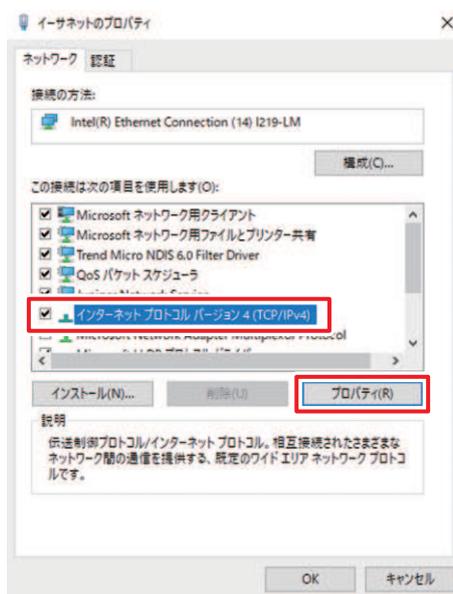


4 [イーサネット]を右クリックして、プロパティを選択する。

- [イーサネット]が複数ある場合は、使用するポートのプロパティを選択してください。
- コンピューターによって、名称が異なる場合があります。

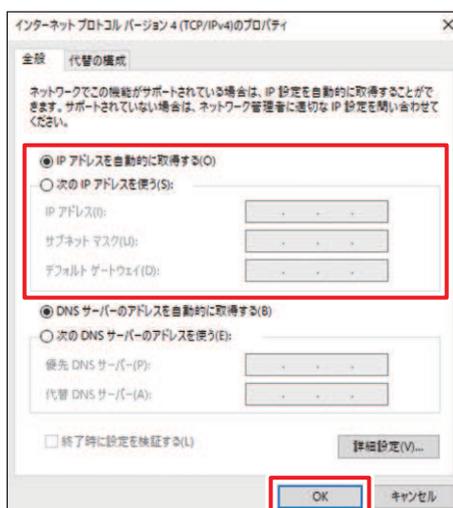


5 ネットワークタブの項目から[インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)]を選択して、プロパティをクリックする。

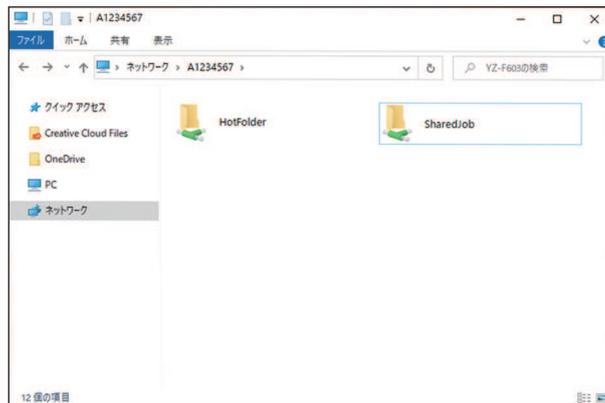


6 ネットワーク設定を行う。

- 制御PCのネットワーク設定に合わせて、ネットワークを設定します。
- 制御PCとRIP用PCのネットワーク設定の詳細は、御社ネットワーク管理者にお問い合わせください。

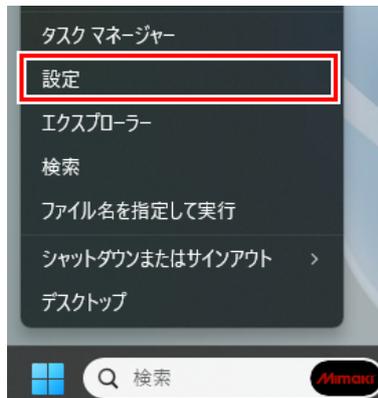


- 7 RIP用PCを再起動する。
- 8 接続を確認する。
 - RIP用PCと制御PCをLANケーブルで接続してください。☞ 「ローカルネットワークに接続する」(P.4)
- 9 RIP用PCのエクスプローラーを開いて、アドレスバーに[\\本機シリアルNo.]を入力する。
 - 本機シリアルNo.は、タッチパネル(MENUから[システム]>[システム情報])で確認することができます。
- 10 エクスプローラーの表示を確認する。
 - [HotFolder]と[SharedJob]の2つのフォルダが表示されているかどうかを確認してください。表示されていたら設定完了です。

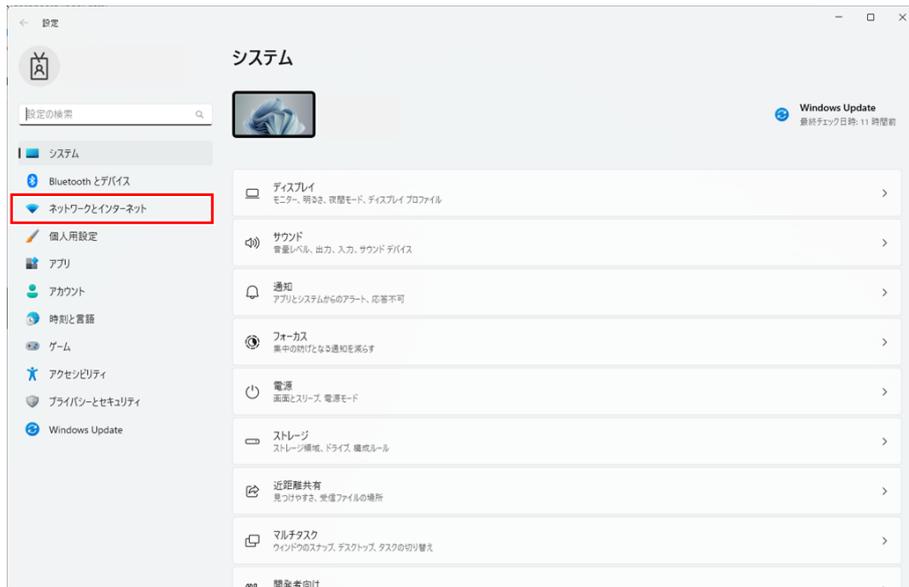


Windows11の場合

- 1 RIP用PCの[スタート]を右クリックし[設定]を選択する。



2 [ネットワークとインターネット]を選択する。



3 [イーサネット]をクリックする。

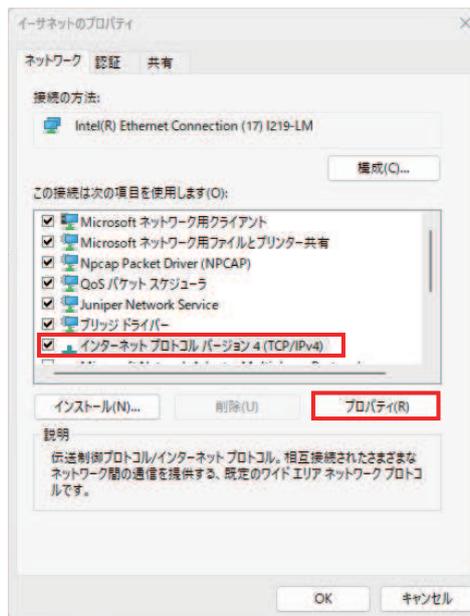
- [イーサネット]が複数ある場合は、使用するポートのプロパティを開いてください。
- コンピューターによって、名称が異なる場合があります。



4 [その他のアダプターオプション]の[編集]を選択する。

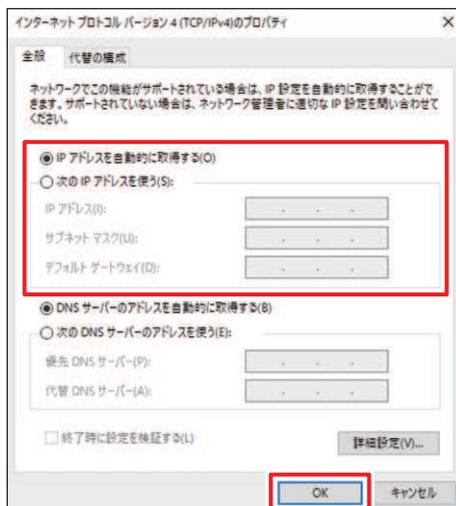


5 画面中盤の設定項目から[インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)]を選択し、[プロパティ]をクリックする。



6 ネットワーク設定を行う。

- ・ 制御PCのネットワーク設定に合わせて、ネットワークを設定します。
- ・ 制御PCとRIP用PCのネットワーク設定の詳細は、御社ネットワーク管理者にお問い合わせください。



7 RIP用PCを再起動する。

8 接続を確認する。

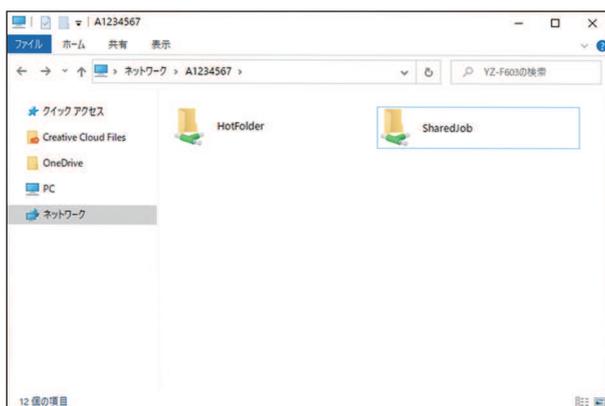
- ・ RIP用PCと制御PCをLANケーブルで接続してください。☞ 「ローカルネットワークに接続する」 (P. 4)

9 RIP用PCのエクスプローラーを開いて、アドレスバーに[本機シリアルNo.]を入力する。

- ・ 本機シリアルNo.は、タッチパネル (MENUから[システム]>[システム情報]) で確認することができます。

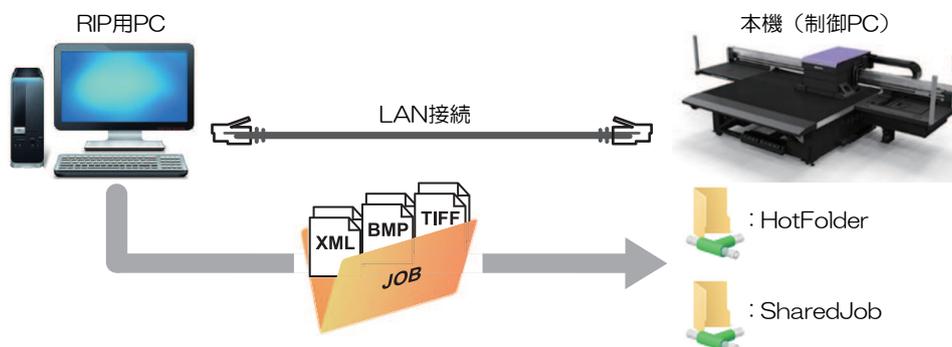
10 エクスプローラーの表示を確認する。

- ・ [HotFolder]と[SharedJob]の2つのフォルダが表示されているかどうかを確認してください。表示されていたら設定完了です。



3. 出力ポートを[Ethernet]に設定している場合

ローカルネットワークを使って、ジョブ（RIPデータ）を本機（制御PC）に取り込みます。☞ 「ローカルネットワークに接続する」（P. 4）



本機（制御PC）の共有フォルダは、次の2種類があります。保存先によって動作が異なりますので、用途によって使い分けてください。

項目	概要
SharedJob	<ul style="list-style-type: none"> [SharedJob]に保存すると、MPCのジョブ一覧に追加されます。☞ 「[SharedJob]に保存した場合」（P. 17） <ul style="list-style-type: none"> ジョブ一覧からジョブを選択して、プリントしてください。
HotFolder	<ul style="list-style-type: none"> [HotFolder]に保存すると、即座にプリントを開始します。☞ 「[HotFolder]に保存した場合」（P. 17） <ul style="list-style-type: none"> [HotFolder]に保存しても、即座にプリントを開始されないケースがあります。

RIPデータを作成する

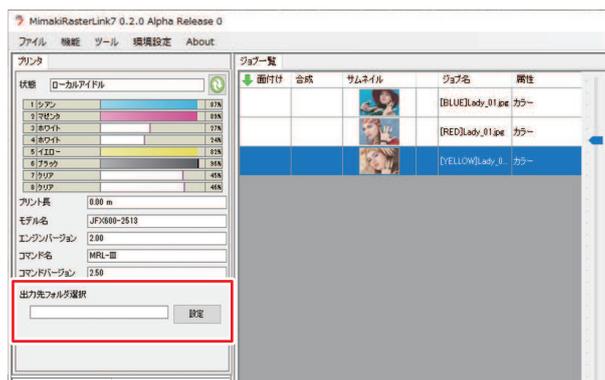
1 “RasterLink”を起動する。

- RIP用PC のデスクトップ上にあるアイコンをクリックしてください。



2 [出力先フォルダ選択]から、共有フォルダーを選択する。

- SharedJob：タッチパネルの[ジョブ一覧]から、プリントしたいとき（例[*****¥SharedJob]）。
- HotFolder：自動でプリントしたいとき（例[*****¥HotFolder]）。



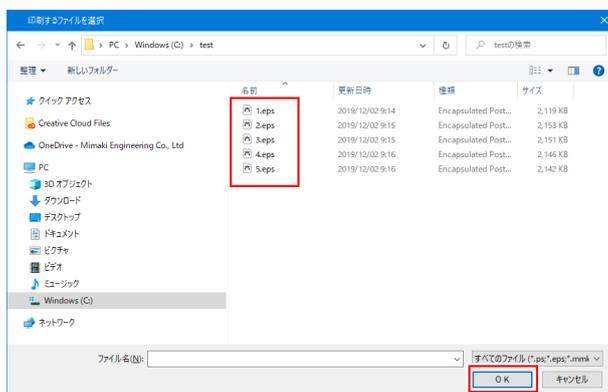
3. 出力ポートを[Ethernet]に設定している場合



- *****にはプリンター本体のシリアルNo.を入力してください。
- シリアルNo.は、タッチパネルのMENUから、[システム]>[システム情報]をタップすると、右側のブラウザ画面に表示されます。

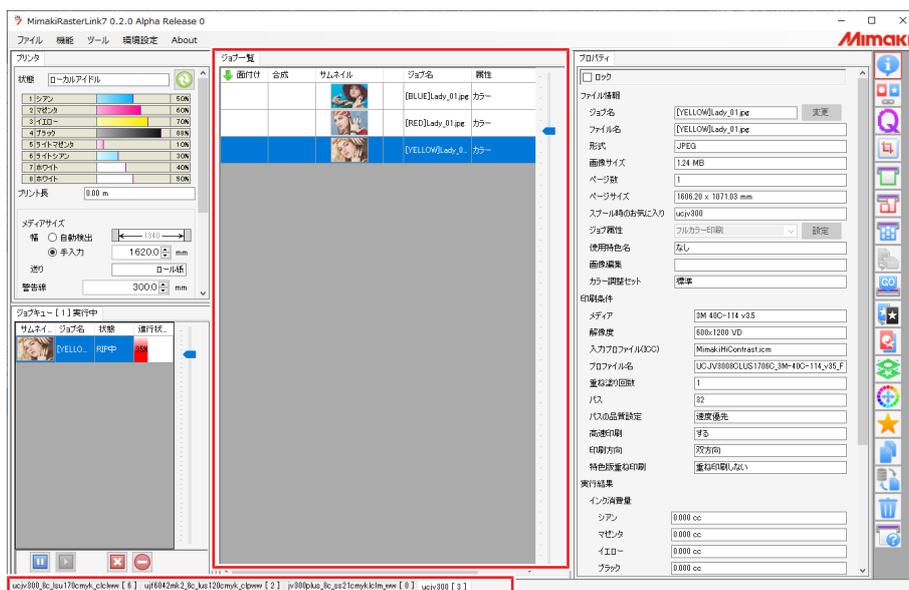
3 プリントする画像データを選択する。

- (1) [ファイル]>[開く]を選択する。
- (2) 任意の画像データを選択して、[開く]をクリックする。
 - 複数のプリンターが登録されている場合、“プリンタ名”からJFX550-2513, JFX600-2513を選択します。



4 読み込まれた画像データを選択する。

- “プリンタ名”で選択した、JFX550-2513, JFX600-2513のタブに表示されます。



5 各種設定を確認、変更する。

- 画面右の機能アイコンから、以下を設定します。
 - (通常印刷) : 拡大/縮小、コピーなどを設定します。
 - (印刷条件) : 本機にセットしているメディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択します。



- 詳しくは、“RasterLink”のリファレンスガイドをご覧ください。 <https://japan.mimaki.com/download/software.html>

6 画像データをジョブ（RIPデータ）にする。

- 画面右の機能アイコンから（実行）をクリックします。「RIP後印刷」を選択して、[開始]をクリックします。
- 出力先フォルダが[SharedJob]の場合：MPCのジョブ一覧にRIPしたジョブが追加されます。 「[SharedJob]に保存した場合」（P. 17）
- 出力先フォルダが[HotFolder]の場合：MPC左下に「ジョブ受信」と表示されて、プリントが開始されます。 「[HotFolder]に保存した場合」（P. 17）



- 出力ポートが[Ethernet]に設定されている場合、ジョブ名はRasterLinkが自動で決定して、指定した共有フォルダーに保存されます。

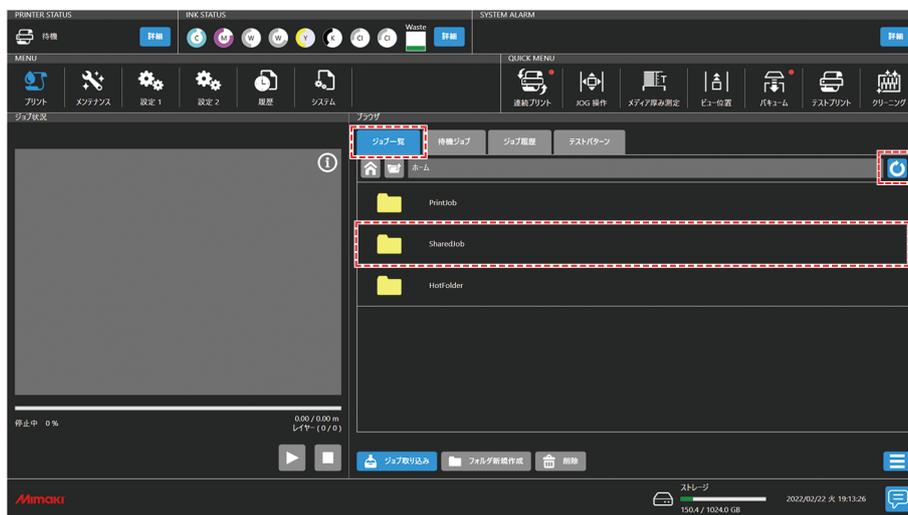
[SharedJob]に保存した場合

[SharedJob]に保存すると、MPCのジョブ一覧に追加されます。

● ジョブ確認方法

正常に読み込まれたジョブは[SharedJob]に保存されています。

- タッチパネルのMENUから、[プリント]>[ジョブ一覧]>[SharedJob]をタップする。



- ジョブが表示されていない場合は、更新ボタンをタップしてください。

[HotFolder]に保存した場合

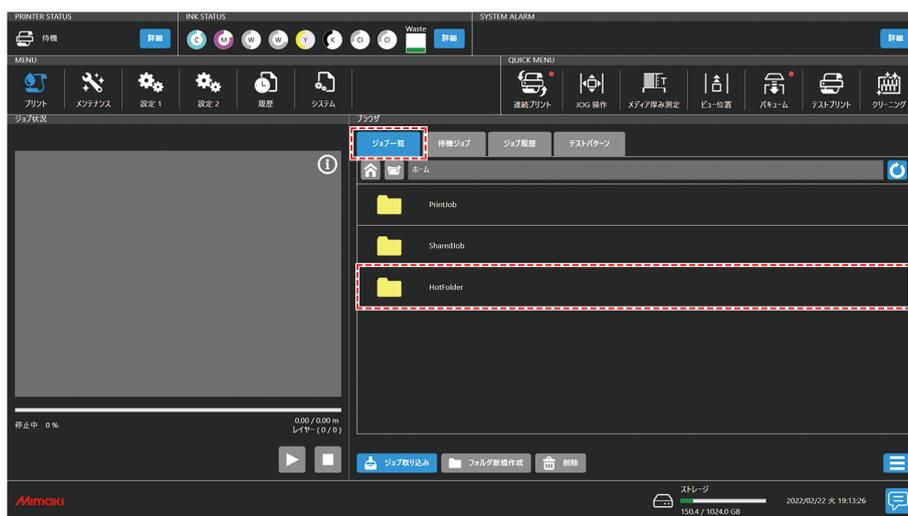
[HotFolder]に保存すると、即座にプリントを開始します。

- [QUICK MENU]>[連続プリント]の設定について
 - 連続プリントモードONのとき：即座にプリントが開始されます。
 - 連続プリントモードOFFのとき：待機ジョブに登録されます。連続プリントモードをONにして、プリントを開始してください。
- 別のジョブをプリント中の場合
 - 待機ジョブに登録されます。別のジョブのプリント終了後、プリントが自動で開始されます。ただし、自動運転モードやワークチェンジモードがONの場合は、別のジョブのプリント終了後、連続プリントモードがOFFになって、プリントは開始されません。

● ジョブ確認方法

正常に読み込まれたジョブは[HotFolder]に保存されています。

- タッチパネルのMENUから、[プリント] > [ジョブ一覧] > [HotFolder]をタップする。

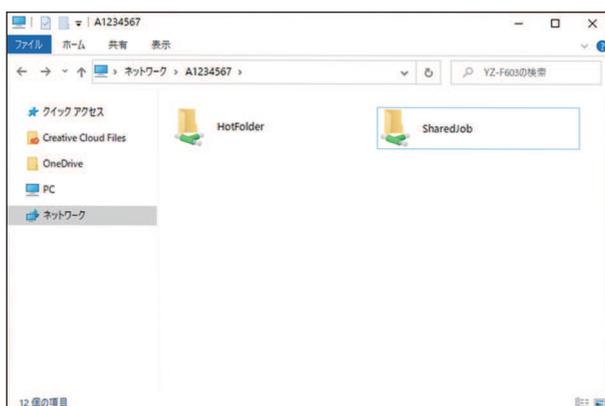


- [HotFolder]に保存できるジョブは100件（デフォルト）です。100件を超えた場合、プリント履歴が古いものから削除されます。ジョブ保存件数は、以下から変更することができます。設定2メニューの[システム設定] > [HotFolder設定]

任意のタイミングでジョブを共有フォルダへコピーする

事前にRIP用PCにジョブを作成し、任意のタイミングで共有フォルダへジョブをコピーしてMPCに取り込むことができます。

- 1 あらかじめRIP用PC上にジョブを作成する。
- 2 RIP用PCに作成されたジョブを、使用する共有フォルダ（SharedJobまたはHotFolder）へコピーする。
 - エクスプローラーのアドレスバーに[*****]を入力すると、本機の共有フォルダを開くことができます。



- *****にはプリンター本体のシリアルNo.を入力してください。
- シリアルNo.は、タッチパネルのMENUから、[システム] > [システム情報]をタップすると、右側のブラウザ画面に表示されます。

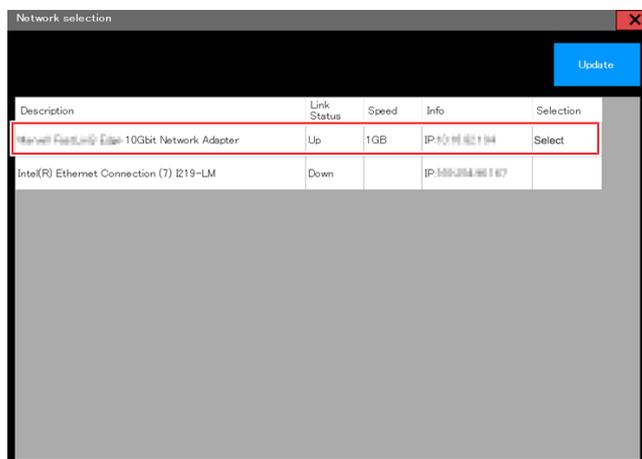
4. RIP向けネットワークカードの選択

RIP向けのネットワークカードが選択されているかを、[SERVICE]メニューから確認します。

- 1 MPCメニューの[サービス] > [調整/設定] > [ネットワーク選択]をタップする。
 - ダイアログが表示されます。



- 2 RIP向けのネットワークカードが選択されているかを確認する。
 - [Link Status]欄に“Up”と表示されているネットワークカードの、[Selection]欄が“Select”になっているか確認してください。



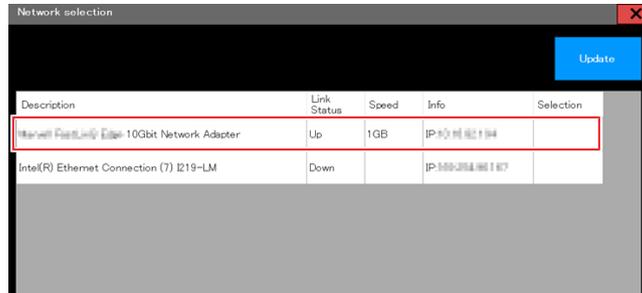


- RIP向けネットワークカードにLANケーブルを接続した状態で確認してください。

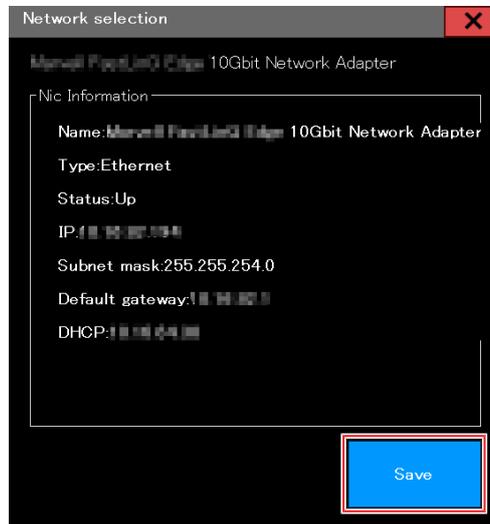
- 該当するネットワークカードが“Select”になっていなかった場合は、下記の手順でネットワークカードを選択してください。

- ネットワークカードの選択方法

- (1) 該当のネットワークカードをクリックして選択する。
 - ダイアログが表示されます。



- (2) 内容を確認して、[Save]ボタンをクリックする。



- (3) 該当のネットワークカードが“Select”になっていることを確認する。
- (4) 本機と制御PCを再起動する。
 - 再起動の方法は、取扱説明書 > 3章 各種設定 (MPC) > 「電源について」を参照してください。
- (5) RIPから本機と制御PCに接続できるかを確認する。

ジョブインポートガイド

2025年3月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

